

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名		在宅医療・介護の推進		担当部局庁	医政局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度～		担当課室	指導課 在宅医療推進室、医事課、 歯科保健課、看護課			室長：福原康之	
会計区分		一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		-		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		施設中心の医療・介護から生活の場において必要な医療・介護サービスを受けられる体制を構築することにより、住み慣れた場で、安心して自分らしい生活を実現できる社会を目指すため、①マネジメントするための人材の育成②実施拠点となる基盤の整備③個別の疾患等に対応したサービスの充実・支援などを行う。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		<p>(1)マネジメントするための人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在宅チーム医療を担う人材の育成(今後、増加が見込まれる在宅療養者への質の高い在宅医療を提供できるよう、医師、看護師などの専門職種ごとの研修を行うとともに、多職種協働で地域において在宅医療を担う人材(指導者)を養成するための研修を行うことにより在宅医療を担う人材の知識、技術の習得や向上を図る。) <p>(2)実施拠点となる基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在宅医療連携体制の整備(多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、医療と介護が連携した地域での包括的かつ継続的な在宅医療の提供に向け、在宅医療を提供する医療機関等による連携拠点を各地域に整備する。) <p>(3)個別の疾患等に対応したサービスの充実・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ●在宅医療推進のための看護業務の安全性等検証事業(患者・家族が希望する在宅医療を実現するため、専門的な臨床実践能力を有する看護師が医師の包括的指示を受け、看護業務を実施できる仕組みの構築に向け業務の安全性や効果の検証を行う。) ●在宅介護者に対する歯科口腔保健推進事業(在宅療養者の健康の保持・向上を図るため、在宅療養者を介護する家族等(在宅介護者)に対して歯科疾患の予防に向けた取組み等による口腔の健康の保持(歯科口腔保健)の普及啓発を行う体制を各地域に整備する。) 							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算					109	4,564
			補正予算						
			繰越し等						
			計					109	4,564
		執行額							
執行率(%)									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		在宅看取り数の増加 (人口動態調査)		成果実績					
				達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		在宅医療を担う職能別の研修 ・多職種参加によるサービス調整等を主眼とする研修 ・多職種協働による在宅医療提供体制の構築 ・個別の疾患等に対応したサービス充実のための研究や整備		活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たり コスト		-		算出根拠					
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	在宅チーム医療の推進のための研修	0	551	箇所数等の増					
	在宅医療を担う医療福祉従事者の育成	0	316						
	在宅医療連携拠点事業	109	3,147						
	在宅医療推進のための看護業務の安全性等検証事業	0	92						
	在宅介護者に対する歯科口腔保健推進事業	0	457						
	計	109	4,564						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	医師、看護師、ケアマネージャー等の多職種協働による在宅医療提供体制の構築については地域のニーズと合致している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業者の選定については、事業計画書の中で ・多職種連携の課題に対する解決策の抽出 ・在宅医療従事者の負担軽減の支援 ・効率的な医療提供のための多職種連携 のそれぞれの課題の解決策がより明確になっているものについて優先的に採択した。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>在宅医療連携拠点事業は、地域における在宅医療の相談・支援体制を担っていた在宅医療推進支援事業とは違い、1)多職種連携の課題に対する解決策の抽出、2)在宅医療従事者の負担軽減の支援、3)効率的な医療提供のための多職種連携を行うことで、在宅医療の提供体制を構築し、分断した医療と介護を包括的かつ継続的に提供できる体制を構築するものである。</p> <p>また、事業終了後に事業全般について総合的に評価し、今後の在宅医療に関する政策立案や均てん化に役立てていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、国民が住み慣れた地域で生活することを支えるために、医療・介護にまたがる様々な支援を包括的に提供する連携体制を構築するものであり、事業目的の妥当性や重要性の観点から優先度が高い事業である。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					